

The Fourth International Discussion Meeting on Glass Transition

2001年2月28日-3月2日

東北大学片平キャンパス

平成23年2月28日から3月2日にわたり、The Fourth International Discussion Meeting on the Glass Transition (略称DMGT2011)が東北大学片平キャンパスにて東北大学グローバルCOEの主催のもと開催されました。

本ワークショップの主なテーマは下記の通りです。

- (1) ガラス転移
- (2) 複雑流体
- (3) 生体分子
- (4) 境界領域

本ワークショップはガラス転移に関する国際会議シリーズの1つであり、主な目的は、ガラス転移を研究する国際的機関より実験、理論および計算機の科学者が一同に会し、最近の研究成果の議論の場を提供することです。海外8カ国から12名および日本国内から26名が参加し、内20名が招待講演、6名が口頭発表、12名がポスター発表を行いました。

招待講演として、A. Meyer先生は粘性金属液体における輸送現象の最新実験観察を発表し、P. Harrowell先生は過冷却液体の応力緩和メカニズムに関する最新理論を発表、そしてP. Gallo先生はMCM-41シリカ円筒状細孔中の過冷却水の分子動力学シミュレーションの結果を発表しました。

本ワークショップは、各国の研究者との関係をより広め又深める事において多大の成功を収めました。我々は、若手研究者の育成及び指導者間の友好関係を築く本ワークショップを毎年開催出来ると確信しています。



